

- 高浜町のPAZ圏内からの避難住民約8,200人の受入れ時には、福井県及び高浜町と災害時協定を締結している指定業者等からの流通備蓄と受入先自治体による備蓄のほか、福井県、敦賀オフサイトセンター、日本赤十字社福井支部に備蓄された物資（食料等の生活用品）等を、福井県トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 福井県及び関係市町が備蓄している物資が不足する場合、福井県から、原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。

日本赤十字社福井県支部備蓄

- ・毛布：4,238枚
 - ・緊急セット（携帯ラジオ、懐中電灯等）：2,851個
 - ・安眠セット（マット・枕等）：481個
- 等

敦賀オフサイトセンター備蓄

- ・食料：6,960食
 - ・毛布：4,300枚
 - ・大人用紙おむつ：680枚
- 等

敦賀市備蓄

- ・食料：22,185食
 - ・毛布：5,773枚
 - ・飲料水：85,902リットル
 - ・トイレ：720個
- 等

PAZ住民避難先 （県内避難の場合）

	避難先施設
内浦地区	敦賀市立松陵中学校 敦賀市立少年自然の家
青郷地区	敦賀市立看護大学 敦賀市立栗野南小学校
内浦地区の一部	敦賀市立体育館 敦賀市立松原小学校 敦賀市立松陵中学校
高浜地区	敦賀市立中央小学校 愛発公民館 敦賀気比高等学校 昭英高等学校 敦賀市立角鹿中学校 敦賀市中郷体育館 敦賀工業高等学校

	協定の種類	内容
福井県	災害時における応急生活物資の協力に関する協定 ほか2協定	災害発生時における応急生活物資等の供給
高浜町	災害時における物資供給に関する協定	災害発生時における応急生活物資等の供給

避難元自治体による流通備蓄

- ・食料品、飲料水、日用品、衣料品
- ・その他高浜町が指定する物資

(※) 物資備蓄数は概数

- 高浜町のPAZ圏内からの避難住民約8,200人の受入れ時には、受入先自治体の支援のほか、福井県の調達した物資、日本赤十字社兵庫県支部に備蓄された物資（毛布等の生活用品）等を、福井県トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 広域避難の際の避難所の運営に必要な物資については、避難元・避難先が協力して確保をする。また、原子力事故による単独災害時には、物資の流通網は健全なことが想定されるため、避難先の民間事業者等から食料品をはじめ生活用品等の調達を積極的に行う。
- 物資が不足する場合には、福井県から、原子力災害対策本部等に対し物資調達の要請を行う。

避難先における物資確保の流れ

避難所へ

物資

物資

物資

物資

物資

物資

要請

要請

要請

要請

日本赤十字社兵庫県支部備蓄等

PAZ住民避難先（県外避難の場合）

PAZ住民避難先（県外避難の場合）		
避難先施設		
内浦地区	三田市	駒ヶ谷運動公園
青郷地区	宝塚市	県立宝塚高等学校 逆瀬台小学校 県立宝塚西高等学校 末広体育館 末広小学校 くらんど人権文化センター さらら仁川北館公益施設 西公民館
高浜地区	宝塚市	東公民館 県立宝塚北高等学校 プレミア宝塚(2、3階) 市立スポーツセンター 宝塚市総合福祉センター 県立宝塚東高等学校 ピピアめふ公益施設
	猪名川町	スポーツセンター 生涯学習センター 文化体育館

日本赤十字社兵庫県支部備蓄

- ・毛布: 5,358枚
- ・緊急セット(携帯ラジオ、懐中電灯等): 2,735セット
- ・安眠セット(マット・枕等): 465個 等

※その他物資が不足する場合には、関西広域連合と連携し必要物資を確保

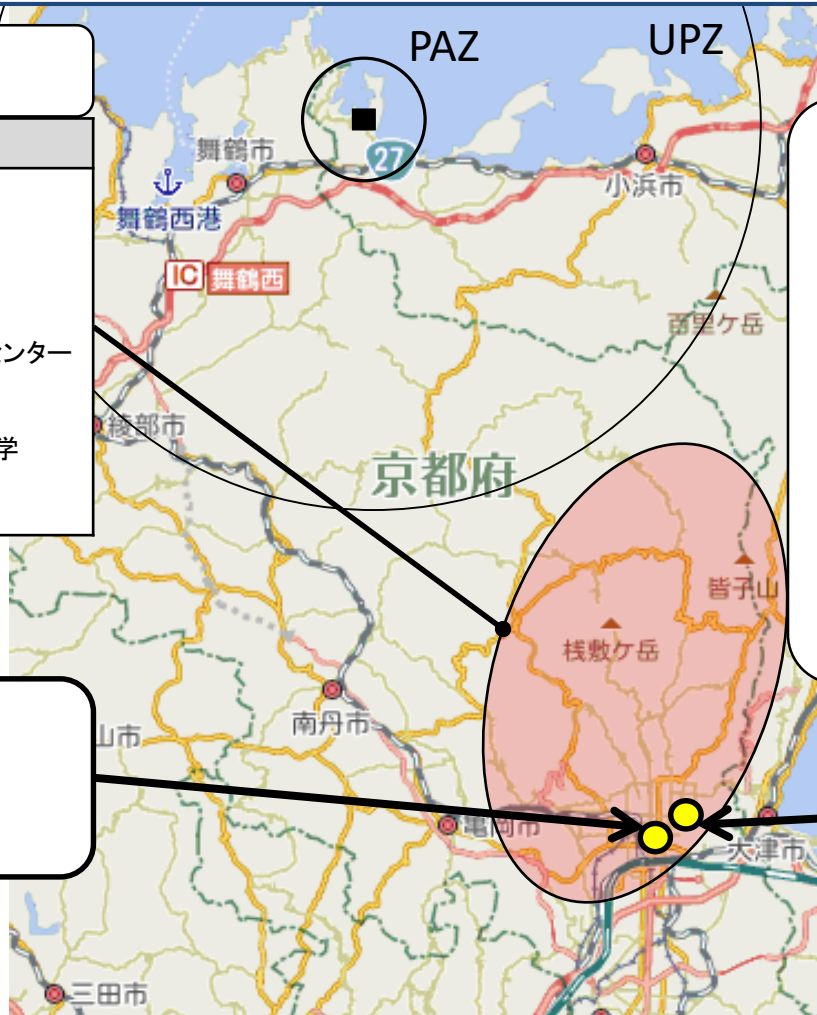
(※) 物資備蓄数は概数

まいづるし
舞鶴市からのPAZ圏内避難時（府内避難）の物資備蓄・供給体制

- まいづるし
- 舞鶴市のPAZ圏内からの避難住民約650人の受入れ時には、京都府及び舞鶴市と災害時協定を締結している指定業者等からの流通備蓄と受入先自治体による備蓄のほか、京都府等に備蓄された物資（毛布等の生活用品）等を、京都府トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
 - 京都府及び関係市町が備蓄している物資が不足する場合、京都府から、原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。

PAZ住民避難先
（府内避難の場合）

避難施設	
京都市 東山区	元有濟小学校
	元新道小学校
	元白川（元栗田）小学校
	元月輪小学校
	元今熊野小学校
	京都市東山青少年活動センター
	東山地域体育館
	陶工高等技術専門学校
	京都華頂大学・同短期大学
	日吉ヶ丘高等学校
華頂女子高等学校	



	協定の種類	内容
京都府	災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定 ほか2協定	災害時における 応急対策物資供給等
舞鶴市	災害時における物資の供給応援に関する協定 ほか3協定	災害時における 応急生活物資等の供給

避難元自治体による流通備蓄
・食料品、飲料水、日用品、衣料品
・その他舞鶴市が指定する物資
まいづるし

京都市備蓄
・食料等：294,100食
・毛布：74,278枚
・飲料水：75000リットル
・トイレ：2,236基
等

京都府京都倉庫備蓄
・食料：26,294食
・毛布：4,082枚
・子ども用おむつ：13,020枚
・簡易トイレ：668セット
等

(※) 物資備蓄数は概数

舞鶴市からのPAZ圏内避難時（府外避難）の物資備蓄・供給体制

- 舞鶴市のPAZ圏内からの避難住民約650人の受入れ時には、神戸市の支援のほか、京都府の調達した物資、日本赤十字社兵庫県支部に備蓄された物資（毛布等の生活用品）等を、京都府トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 広域避難の際の避難所の運営に必要な物資については、避難元・避難先が協力して確保をする。また、原子力事故による単独災害時には、物資の流通網は健全なことが想定されるため、避難先の民間事業者等から食料品をはじめ生活用品等の調達を積極的に行う。
- 物資が不足する場合には、京都府から、原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。



PAZ住民避難先
(府外避難の場合)

避難施設

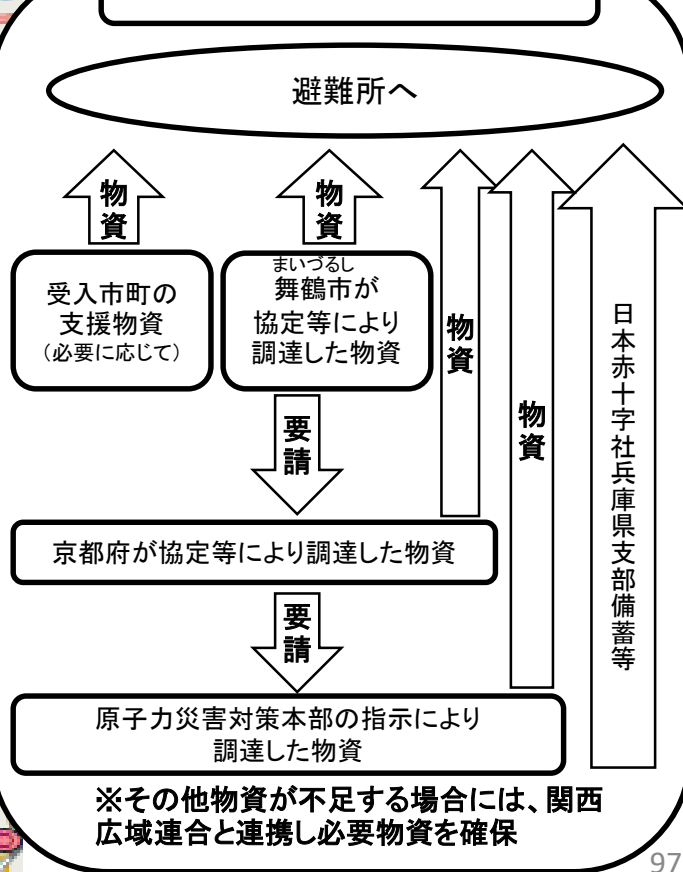
兵庫県神戸市	田園スポーツ公園 他1施設
--------	------------------

日本赤十字社兵庫県支部備蓄

- ・毛布: 5,358枚
- ・緊急セット(携帯ラジオ、懐中電灯等): 2,735セット
- ・安眠セット(マット・枕等): 465個 等

(※)物資備蓄数は概数

避難先における物資確保の流れ



※その他物資が不足する場合には、関西広域連合と連携し必要物資を確保